

# はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.58  
2014.7



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

## 花咲小と歯舞小の児童 「アサリ掘り体験」



歯舞地区マリンビジョン協議会が、地域の基幹産業である漁業について学んでもらおうと毎年継続実施している「アサリ掘り体験」が7月16日、トーサムポロ漁港で行われました。

参加したのは花咲小学校1年生38人と歯舞小中学校1年生21人・2年生15人です。当日は好天に恵まれ、絶好の潮干狩り日和となりました。

午前10時に開校式が行われ、歯舞漁協振興部が児童らへ注意事項などを説明した後、アサリ掘り体験が始まりました。

クマデとバケツを手にした児童は、アサリを見つけるたびに「あった！」と目を輝かせて喜び、漁協職員らに掘り方のコツを教わりながら、あっという間にバケツがいっぱいになるほどのアサリを掘りました。また、小さなカニや水中に生息する昆虫などを発見して興味深く観察したり、名前を先生に尋ねたりする姿もみられ、児童たちはみなイキイキとした表情でアサリ掘りを楽しんでいました。



## 歯舞小3・4年生が「地引き網体験」



歯舞地区マリンビジョン協議会は7月17日、友知海岸で歯舞小中学校小学3・4年生を対象に「地引き網体験」を行いました。

この日は、小学3年生21人、4年生15人の計36人が参加し、歯舞漁協職員や児童の父母などの応援で、地引き網に挑戦しました。沖合に入れられた引き網を、児童たちが「ヨイショ、ヨイショ」と大きな掛け声を上げて引き揚げると、網の中にはピチピチと飛び跳ねるカレイやコマイ、チカなどが入っていました。



児童たちは「たくさん魚がいる！」と大喜びで、各自用意した袋いっぱい魚を拾いました。地引き網終了後には、この日獲れた魚の名前などの解説も行われ、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

## 歯舞中学3年生「ウニの人工授精実習」を実施



6月10日、歯舞中学校3年生18人を対象に、「ウニの人工授精実習」を実施しました。歯舞中学校の総合学習の一環として、地元の水産業への理解を深めることを目的に毎年行っています。

講師には、根室地区水産技術普及指導所 水野主査、歯舞漁協 漁業振興部 石黒係長と高本職員の3名があたり、ウニの体の構造や成長過程、ウニの人工授精の作業手順について説明がありました。その後の実習では、生徒たちは実際に生きたウニを解剖、観察し、授精前の卵と授精後の卵膜形成の観察を行いました。

生徒たちは生きたウニを目の前にして最初は緊張気味でしたが、実習が進むにつれ積極的に作業に取り組むようになり、実習に対する真剣な表情からは地元の水産業への関心の高さがうかがえました。

## 首都圏から移住体験 「アサリ掘り」を体験

7月12日～20日に移住交流に興味を持つ8名が根室市を訪れました。

体験プログラムの一環で、参加者らは7月16日に歯舞漁協を訪れ、トーサムポロ漁港で「アサリ掘り体験」を行いました。

また、歯舞漁協食堂では煮エビや結び昆布など地元産魚介類をふんだんに使った昼食を提供し、「すごく美味しかった」と大変好評でした。

この他、納沙布岬や北方原生花園などを散策して根室の大自然を満喫した参加者たちは、根室での移住体験に非常に満足した様子でした。



## 平成26年度 都市漁村交流推進協議会 トーク&トークまちに元気を！で活動報告



7月15日に東京都内で開催された都市漁村交流推進協議会主催のトーク&トークで、歯舞漁協の平山参事が歯舞地区マリンビジョン協議会の取り組みをテーマに講演しました。

取り組みでは若手漁業者や道庁、大学などからも積極的に意見を聞き、幅広い視野を取り入れていることを説明。「短期的な利益以上に長期的な視野を重視した」と強調しました。

現在、地元の小中学生を対象とした潮干狩りや地引き網といった漁業体験や、魚介類の調理体験なども実施しており、次世代の漁業者育成を視野に入れた活動にも力を入れていきます。

### ■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■ 編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■ お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

